

令和2年度 事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人
しが障害者就労支援センター

1：事業の成果

障害者施設の運営を離れ4年が経過し、新たな取り組みの柱を模索する1年間であった。

1・糸賀一雄先生の旧居宅に事務所を設けることができ大変光栄に思うと共に責任を痛感し、建物等の維持管理及びその周知に全力で取り組んでまいりました。

2・農水省より農山漁村振興交付金(3,847,870円)を受け、農福連携人材育成支援事業を実施(別途報告書添付)

3・また昨今の福祉関係機関共通の課題である人材の確保・育成に関し、様々な施設の若手職員さん方に当事務所にお集まりをいただき交流会等を実施し、微力ではありますが貢献できたと考えます。

4・施設の運営主体が再度変更された為戸惑われる利用者や保護者、及び以前に退所された利用者へ支援が届かなくなったため当法人においてこうした方々への支援を再開させた。

2：事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
精神障害者を対象とする各種福祉施設の運営	当該年度は実施なし					
作業訓練・就労訓練を兼ねた就労支援活動の実施	作業訓練・体験の場の提供	7月	大津市	2名	延べ10名	6,880

精神障害者の就労支援に関する調査・研究・啓発活動	農福連携に関するビデオの作成 農作業における障害者の作業分析の実施 (詳細資料別添)	7月～ 1月	大津市・栗東市 他	2名	約100名 約40名	3,847,870
精神保健福祉に関する啓発活動	旧施設利用者等への支援の実施	4月～ 3月	大津市	1名		244,340
各種イベントの開催	農と福祉の連携による農山漁村振興事業の実施(農福連携人材育成事業) (詳細資料別添)	1月～ 3月	大津市・栗東市 他	2名	約60名	3,847,870 (再掲)
その他、法人の目的達成のために必要な事業	障害者施設若手職員の育成(交流会開催)	通年	大津市 法人事務所	1名	6回 12名	244,340 (再掲)

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
不動産の賃貸(貸室・駐車場等)	当該年度は実施なし				

3：法人の運営状況

(1) 正味財産額の状況

資産・負債・正味財産額の推移

(千円)

項目	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	対前年
総資産額	110,199	66,122	48,648	41,144	33,947	82.5%
総負債額	16,944	14,501	20,090	20,049	20,056	100.1%
正味財産額	93,255	51,261	28,557	21,095	13,890	65.8%

・令和3年3月31日現在の正味財産額 13,890千円

(2) 理事会開催状況

現在の役員数 理事3名 監事1名 (令和3年3月31日現在)

現在の役員任期 令和3年3月31日 (全員重任予定)

① 第44回理事会 令和2年5月18日

・令和元年度事業報告を承認

- ・令和元年度収支決算報告を承認
- ・令和元年度事業並びに決算監査を承認
- ・社員総会開催を承認

- ② 臨時理事会 令和3年3月2日
 - ・役員改正に伴う臨時社員総会の開催及びその付議事項を承認
- ③ 臨時理事会 令和3年3月16日
 - ・理事長及び副理事長の互選を実施
- ④ 第45回理事会 令和3年3月16日
 - ・令和3年度事業計画案・予算案を承認
 - ・令和2年度収支見込みを報告

(3) 社員総会開催状況

現在の社員総数 10名 (令和3年3月31日現在)

- ① 第14回社員総会 令和2年5月28日
 - ・令和元年度事業報告を承認
 - ・令和元年度収支決算報告を承認
 - ・令和元年度事業並びに決算監査を承認
 - ・令和2年度事業計画案・予算案を承認
 - ・社員の入会・退会に関する報告を承認
- ② 臨時社員総会 令和3年3月16日
 - ・任期満了に伴う役員の改選案を承認

(4) 指導監査及び監査等の実施状況

- ・県・市等の指導監査 実施なし
- ・監事監査 令和2年5月13日実施 (令和元年度分)

4 : おわりに

次年度においても、新たに設けた事務所を起点とし、他の障害福祉施設等の職員交流等を積極的に行い、関係機関と連携して福祉人材育成に取り組み、障害者福祉の向上に寄与したいと考えます。また次年度においても農水省の交付金を得て、農福連携人材育成事業を引き続き行っていく予定です。

以上

事業報告書2(詳細資料)

1 事業名 令和2年度農山漁村振興交付金農福連携人材育成支援事業

2 事業の目的

課題を調査整理し作業体験等を通じて福祉施設の就労支援員等を就労支援コーディネーターの人材として育成する。

3 取り組みの概要

昨年度の成果を受けた本事業 2 年目では、施設外就労コーディネーター育成に向け、当初計画では農福連携をする福祉施設の職員を受け入れた、ミニ農作業体験や座学勉強会を複数回開催で予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大が長期化したため、集合形式による開催については、中止や規模を縮小して開催した。

対策としては、新型コロナウイルス感染症予防で対外的な研修等の参加を自粛し、学ぶ機会を失っている福祉施設の職員に対し、インターネットによるウェビナーを提供し、施設外就労のマッチングに向けた農業技術やコーディネートのノウハウを動画マニュアルにして配信をした。

4 事業の内容及び実績

(1) 研修等の開催およびのマッチングのきっかけとなる動画撮影

農福連携の現場において、農家とのマッチングとして施設外就労を実際にする福祉施設に対して実地における研修等の開催したほか、農業の新規参入や拡大を検討する福祉施設が農家とのマッチングのきっかけとなる動画撮影の協力について NPO 法人縁活へ委託し事業を実施した。

- ① B型施設における農作業の一日動画撮影
実施日:9月28日ほか
- ② 農作業工程ごとの手元動画撮影
実施日:10月5日～9日、11月10日～11日ほか
- ③ 農業機械操作の研修開催(刈り払い機、耕運機等)
実施日:12月7日)
- ④ 農業機械操作の安全講習動画の撮影、操作手順動画撮影
実施日:12月8日ほか

(2) コーディネートに必要なスキルについて講義動画撮影

実際に農家と福祉施設をマッチングして多くの施設外就労の実績を作ってきたJAこうか職員の松山氏に依頼し、コーディネートに必要なスキルについてポイントを検討してもらい、マッチングの好事例や失敗例、課題となることなどについて、実際の作業現場などにおいて講義を実施し、その内容を動画に収録した。

- ① 事前打合せ、動画内容への助言
実施日:1月～3月
- ② 講義の実施、撮影
実施日:1月21日

(3) 農作業現場における障害者の作業工程分解

障害者が得意とする作業の調査分析の実施および作業工程動画撮影をするためのシナリオの作成について、おもやにおいて実際に農業の就労支援経験がある本郷瞳氏に依頼し、シナリオ作成を進めた。

- ① おもや職員と本郷氏を交えたシナリオ作成に向けた意見交換
実施日:7月14日
- ② 障害者現場における作業経験をもとに作業工程の分解について検討
実施日:7月15日～7月31日

- ③ 本郷氏を交えたシナリオ案の作成および検討

実施日:8月6日

- ④ シナリオ完成およびおもやへの動画撮影指示

実施日:10月1日(木)

(4)動画の制作、編集作業による障害者在宅ワーカーの仕事創出

動画の現地撮影および動画の制作、編集、PRチラシのデザインについてHASH合同会社へ委託し事業を実施した。また、動画の制作、編集については、HASH合同会社に登録する、障害者在宅ワーカーが作業を担当し、障害者への就労支援を実施した。

5 本事業による効果

○農業機械操作の勉強会

施設外就労で農家のニーズが多い刈り払い機の操作方法を学ぶことで、多くの農家からの要望に。応えられるほか、マッチングのきっかけを作りたい農家へのアプローチの武器となる。

また、障害当事者が操作技術を得ることで作業効率アップが図られ、農家から信頼を得てあたらしい作業の依頼につながるほか、障害当事者の作業レベルが上がり、本人の意欲や自信につながる効果があると考えられる。

○農福連携マッチング動画

インターネットを活用し、パソコンやスマホから学ぶことが出来るWEBサイトを作ることで、農業に関心があるがなかなかきっかけをつかめない福祉施設、農福連携には関心があるが福祉施設のことや障害者のことを知るきっかけや出会う機会がない農家が、気軽にいつでも好きな時に繰り返し学ぶことが出来る。

また、新型コロナウイルス感染症予防のため、やむを得ず対外的な研修参加への自粛をしている福祉施設の職員、研修の開催時間が平日の日中にあつて福祉施設での支援があつてなかなか参加できなかったり、研修が開催される会場が遠いためにあきらめていた施設職員が、いつでも見られる動画で自由に学ぶことが出来たりするため、潜在的な施設外就労コーディネーターの発掘に繋がる効果があると考えられる。

○農福連携マッチング動画サイトのPR

WEBサイトの公開について広く周知することを目的として、PRチラシを制作した。

チラシの配布については、滋賀県農政課に協力要請し、滋賀県農福連携推進会議および滋賀県農政課主催で3月23日に県庁で開催された「令和2年度農福連携勉強会」において参加した福祉施設、農家、自治体職員、大学関係者等、約110名に配布された。また、3月29日には、滋賀県が農福連携の推進のために組織する「しがの農×福ネットワーク」の福祉施設や農家等、50か所以上の会員に向けて提供された。

6 直近の課題および将来ビジョン

農福連携マッチング動画サイトの公開により、潜在的な施設外就労コーディネーターの掘り起こしにつながると考える。今後は、本事業においてきっかけを得た人材に対し、マッチングの情報交換など交流の機会をつくり、コーディネートレベルアップを図っていく事が課題となる。

就労支援コーディネーターの活動により、農家と福祉施設とコミュニケーションが取れた施設外就労のマッチングがすすめられ、農家の経営安定化の一方、障害者に対して農業以外の仕事に加え、農業による就労の機会が提供できるようになり、就労支援の新しい可能性をさらに広げて行ける。

また、実施地域のような都市地域での施設外就労事例が全国の同様地域でのマッチングにつながり、都市農地の維持保全が図られると考える。

決 算 報 告 書

(第 14 期)

自 令和 2年4月 1日
至 令和 3年3月31日

特定非営利活動法人
しが障害者就労支援センター

令和2年度 活動計算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

特定非営利活動法人しが障害者就労支援センター

<福祉事業活動収支の部>

勘定科目		予算額	実績額	予算との差額	対予算	備考
福祉活動収入の部	事業収入	30,000	3,847,870	3,817,870	12,826.2	農山漁村振興交付金(農水省)
	合計	30,000	3,847,870	3,817,870	12,826.2	
	その他					
	事務受託収入	50,000	0	-50,000	0.0	
	会費収入	10,000	10,000	0	100.0	社員会費
	受取利息	300	292	-8	97.3	
	雑収入	9,700	100,000	90,300	1,030.9	新しい生活産業様式支援助成金
	合計	70,000	110,292	40,292	157.6	
経常収益計		100,000	3,958,162	3,858,162	3,958.2	
福祉活動支出の部	人件費					
	給料手当	3,000,000	2,847,720	-152,280	94.9	
	法定福利費	200,000	152,412	-47,588	76.2	
	福利厚生費	100,000	110,551	10,551	110.6	
	退職給付引当金繰入	0	0	0	-	
	合計	3,300,000	3,110,683	-189,317	94.3	
	事業費					
	研修会開催費	100,000	6,880	-93,120	6.9	
	相談等支援費	500,000	244,340	-255,660	48.9	旧施設利用者等の支援費
	公益活動費	300,000	3,847,870	3,547,870	1,282.6	農山漁村振興交付事業
	合計	900,000	4,099,090	3,199,090	455.5	
	管理費					
	報償費	1,000,000	1,146,000	146,000	114.6	
役務費	100,000	72,800	-27,200	72.8		
職員研修費	200,000	97,213	-102,787	48.6		
諸会費	20,000	0	-20,000	0.0		
通信費	240,000	219,521	-20,479	91.5		
旅費	300,000	199,680	-100,320	66.6		
車両維持費	500,000	461,979	-38,021	92.4		
消耗品費	50,000	15,587	-34,413	31.2		
水道光熱費	150,000	138,170	-11,830	92.1		
地代家賃	240,000	240,000	0	100.0		
物品費	800,000	661,651	-138,349	82.7		
修繕費	1,000,000	358,735	-641,265	35.9		
雑費	300,000	341,679	41,679	113.9		
合計	4,900,000	3,953,015	-946,985	80.7		
経常支出計		9,100,000	11,162,788	2,062,788	122.7	
当期正味財産増減額		-9,000,000	-7,204,626	1,795,374	80.1	
前期繰越正味財産額			21,095,332			
次期繰越正味財産額			13,890,706			

損益計算書

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

特定非営利活動法人しが障害者就労支援センター

(単位: 円)

科 目	金 額	
【売上高】		
補助金収入	3,847,870	
売上高合計		3,847,860
売上総利益金額		3,847,860
【販売費および一般管理費】		
販売費および一般管理費合計		6,054,532
営業損失金額		2,206,672
【営業外収益】		
会費収入	10,000	
受取利息	292	
雑収入	100,000	
営業外収益合計		110,292
【営業外費用】		
公益活動費	3,847,870	
備品費	661,651	
修繕費	358,735	
地代家賃	240,000	
営業外費用合計		5,108,256
経常損失金額		7,204,626
当基純損失金額		7,204,626

貸借対照表

令和3年3月31日現在

特定非営利活動法人しが障害者就労支援センター

(単位: 円)

資産の部		負債の部	
科目	合計	科目	合計
【流動資産】	33,946,656	【流動負債】	55,950
現金及び預金	28,171,108	預り金	55,950
前払費用	180,000		
短期貸付金	1,747,678		
未収入金	3,847,870	【固定負債】	20,000,000
		退職給付引当金	20,000,000
		負債の部合計	20,055,950
		純資産の部	
		【正味財産】	13,890,706
		前期繰越正味財産	21,095,332
		当期正味財産増減額	-7,204,626
		正味財産合計	13,890,706
資産の部合計	33,946,656	負債及び純資産合計	33,946,656

財 産 目 録

令和3年3月31日現在

特定非営利活動法人
しが障害者就労支援センター

科 目	金 額	詳 細
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,171,108	現金・預金(滋賀銀行本店他)
前払費用	180,000	地代9か月分
未収入金	3,847,870	農林水産省補助金
短期貸付金	1,747,678	特定非営利活動法人HUB's貸付け
小計	33,946,656	
資産合計	33,946,656	
負債の部		
流動負債		
預り金	55,950	源泉所得税
小計	55,950	
固定負債		
退職給付引当金	20,000,000	職員退職給与引当金
小計	20,000,000	
負債合計	20,055,950	
正味財産額	13,890,706	